

人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

- 日時／2月16日(木) 13:00~16:00
- 場所／清水会館 応接室

電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番 (さまざまな人権問題)

☎ 0570-003-110

女性の人権ホットライン(家庭内暴力など女性の人権問題)

☎ 0570-070-810

こどもの人権 110 番(いじめ・虐待など子どもの人権問題)

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

人権だより

有田川町教育委員会 社会教育課

電話 22-4513

ファクス 32-4827

「沖繩全戦没者追悼式」より

太平洋戦争が終結して77年、激しい地上戦が繰り広げられた沖繩で、毎年行われている「沖繩全戦没者追悼式」。令和4年度(2022年度)は小学2年生の徳元穂菜さんが「平和の詩」を朗読しました。

彼女の曾祖父は太平洋戦争沖繩戦で戦死されたそうです。ある時、家族で宜野湾市にある美術館を訪れ「沖繩戦の図」という絵を見ました。そこには老若男女問わず激しい戦闘に巻き込まれ、逃げ惑い赤い血で染まる様子が生々しく描かれていました。その衝撃的な絵を目の当たりにしたときの彼女の思いが「平和の詩」としてつづられています。詩の最後の一節を紹介します。

せんそうがこわいから
へいわをつかみたい
ずっとポケットにいれてもっておく
ぜったいおとさないように
なくさないように
こわいをして、へいわがわかった

令和四年沖繩全戦没者追悼式「平和の詩」朗読作品
「こわいをして、へいわがわかった」より

この朗読の様子はテレビのニュース番組などで取り上げられていたの
で視聴された方もいると思います。
いかにも小学生の女の子らしい表現
ではありますが、その一つ一つの言
葉は私たち大人が常に心にとどめて
おかなければなりません。現在の日
本からは考えられませんが、本当に
この国に起こったことなのです。

沖繩戦の死者は約20万人以上、う
半数は一般人であり、沖繩県民の約
4人に1人が犠牲になりました。戦
争の絵を見て怖いと感じる、悲しい
と感じる、そんな子どもたちの感性
を大人たちは全力で守っていかなく
ればなりません。

そして現在も戦火にさらされてい
るウクライナに、1日も早く平和が
訪れることを心から願っています。

人権機関有田川 實森孝行

まちの相談パートナー 人権擁護委員

人権擁護委員は法務大臣の委嘱を
受け、住民の人権を守るための相談
業務や啓発活動を行っています。

人権とは「人間の尊厳に基づいて
各人が持っている、固有の権利であ

り、社会を構成する全ての人々が個
人としての生存と自由を確保し社会
において幸福な生活を営むために欠
かすことのできない権利」です。
周りの人や自分自身が人権侵害を
受けていると思ったら、ひとりで悩
まずにご相談ください。

有田川町内の人権擁護委員

- 上田 敦子 (角)
 - 新谷 信子 (粟生)
 - 高垣 かすみ (吉原)
 - 田中 伸幸 (庄)
 - 田又 和彦 (吉原)
 - 栃崎 千津代 (熊井)
 - 畑中 泰武 (小川)
 - 林 ちさと (清水)
 - 山戸 敏裕 (板尾)
 - 和田 啓次郎 (天満)
- (1月1日現在) 50音順 敬称略)

